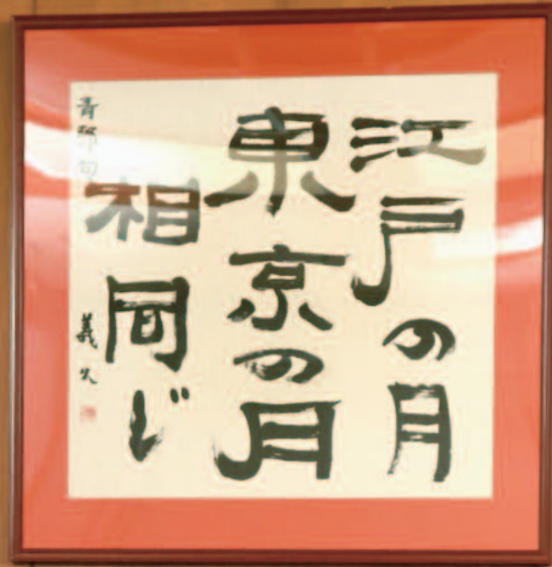


### 自転車シェアリングシステム、外国人観光客対応…

# トップが語る「港区の地域交通」

港区長  
武井雅昭

「自転車・バイク・自動車駐車場 パーキングプレス」誌 発行人  
森井 博



#### 【プロフィール】

武井雅昭 (たけい・まさあき)

1953年1月1日生まれ。1977年、早稲田大学政治経済学部卒業後、港区入区。2004年港区長に就任。その後、2008年2期目・2012年3期目・2016年4期目就任、現在に至る。

背後の壁に架かる句は山口青邨(せいそん)作。武井区長は「月の光は今も昔も美しく現在まで連続と続いているものです。変わらぬ月に照らされる港区にも歴史的建造物や人情など、今も昔も変わらない美しいもの、大切なものがたくさんあり、港区にふさわしい句であると考えています」と話した。

台場、青山、六本木などの人気スポットや赤坂、麻布など歴史をもつ国際的な雰囲気の街もあり、東京の都心のなかでも洗練されたイメージをもつのが港区だ。株式会社リクルート住まいカンパニーが主催する「SUUMO住みたい街ランキング関東版(行政区部門)」で、2年連続で第1位に選ばれているのも納得できる。

また、港区は私たちの業界にとっても非常に重要な自治体だ。昨年スタートした東京都心部のシェアサイクル広域相互利用は、今年1月に文京区が加わり、現在計6区のネットワークに拡大しているが、なかでも最大の自転車数、サイクルポート数を備え、中核的な役割を果たしているからである。

今後のシェアサイクルや自転車走行空間、公共交通、駐車場などのあり方、さらには東京2020大会に向けた取り組みなどを武井雅昭港区長に聞いた。(対談収録：2017年4月10日)

## 全国屈指の規模を誇る 自転車シェアリング1,010台 サイクルポート63カ所

**森井** まずはシェアサイクルの話題から始めたいと思います。昨年の2月から港区、千代田区、中央区、江東区の都心4区でシェアサイクルの相互乗り入れが始まり、昨年秋に新宿区、今年1月に文京区が加わって都心のシェアサイクル広域相互利用は6区にまで広がりました。そして、今後もさらにそのネットワークが拡大する気配を見せています。東京2020大会に向けて国内外の観光客に利用していただけるのはもちろんのこと、既に都内のビジネスマンや観光客の足として定着した感があり、私たちとしても大変喜ばしいことと受け止めています。そして、その“核”として機能しているのが6区最大規模である港区のシェアサイクルです。現時点での台数、

ポート数はどうなっているのですか。

**武井** 自転車は1,010台、サイクルポートは63カ所となっています。

**森井** 港区さんがシェアサイクルを始めたのは2014年10月ですから、約2年半の歴史ですね。それで台数が既に1,000台を突破しているのは素晴らしいです。やはりシェアサイクルの利便性は台数に比例しますので、利用者にとってどんどん便利になり、着実に身近な存在になっていると推測できます。そもそも港区さんがシェアサイクル導入に至った背景は何だったのでしょうか。

**武井** 放置自転車問題と二酸化炭素排出量削減という2つの課題への対策という意味合いがありました。港区に限らず都心部はどこでも土地が狭く、大規模な駐輪場が作りづらい。それが放置自転車問題の一因になっていたわけです。また、港区は活発な経済活動や人、物流の集積、交通量の多さなどから23区で二酸化炭素の排出量が最大であるという事情もあり、環境負荷の低減は大きな課題です。自転車シェアリングシステムの導入はこの2つの問題に対して有効だったわけですね。自転車の量を減らすことに期待できるうえ、環境にも優しいわけですから。

**森井** 一石二鳥の存在ですね。従来のレンタサイクルではなく、乗り捨てOKである点も導入理由になったのでしょうか。



昨年4月にオープンした港区新橋3丁目「桜田公園自転車駐輪場」。スペースを効率的に使える地下型で計408台を駐輪できる

**武井** そのとおりです。借りた場所に戻る必要がなく、目的地のそばのポートに返却できる利便性は自転車シェアリングの大きな魅力です。行きたい場所に行きたくて自転車を返した後は公共交通でさらに遠隔地へ行くもよし。あるいは散策して商店街を歩くもよし。商店街振興の点でも意義がありますね。

**森井** そうですね。パークアンドライドを促すことで二酸化炭素排出を削減できますし、人の回遊を促す仕組みとしても評価できると思います。

**武井** ありがとうございます。

## 都心6区相互乗り入れ開始後 シェアサイクル利用回数は 2.85倍に拡大

**森井** 放置自転車対策というお話がありました。その点で効果はどうでしたか。

**武井** はい。最も効果的だったのが品川駅の海側、港南口です。ここにはかつて大量の放置自転車がありました。2,000台規模の駐輪場を整備し、大きく改善しました。しかし近年、海沿いに大規模なタワーマンションが建てられて住民が急増したことに加え、駅周辺に規模の大きなオフィスが集積して働く方も増えたのです。その結果、自転車が非常に増え、新たな放置自転車問題が発生しそうになりました。それが自転車シェアリングを始めたため、個人所有から一定数



港区自転車シェアリングのWEBより。サイクルポートの密度がいかに高いかが分かる



がシェアリングに移行したことで、その心配がなくなりました。

**森井** なるほど。

**武井** 自転車に搭載されたGPSを活用して、どこからどこへ移動したか追跡できます。出発地から目的地までの自転車シェアリング利用者の動きを記録したデータを分析した結果——もちろん個人情報保護には最大限に配慮しつつですが——非常に有効に使われている実態をつかむことができました。

**森井** 6区で使用されているのはドコモの情報通信技術が活かされていますからね。今後さらに分析を進めるとポートの適切な設置場所や再配置の方針を決める際に役立つと思います。

**武井** 人が歩いて負担を感じないのは、

およそ300mと聞いています。つまり300mのピッチで1ヵ所サイクルポートがあれば非常に便利に使っていただけるわけで、現在はそれをポート設置の目標値にしています。1km四方で考えれば約9ヵ所になりますね。港区の総面積で見ますと区内に約170ポートあれば理想的という計算が成り立ちます。

**森井** なるほど。170ポートを達成する日は近そうですね。

**武井** 港区内のポート設置場所に一部で偏りが見られるため、まずはその“ムラ”を均すことを進めています。

**森井** それだけでも利便性は今以上に向上するでしょうね。

**武井** そうなれば170ポートの達成も現実的になってくると思います。

**森井** 都心6区の相互乗り入れが始まってから相乗的な効果はありましたか。

**武井** はい。かなり大きくて港区単独で自転車シェアリングを行っていた時に比べると利用回数が2.85倍になったという数字が出ています。

**森井** 素晴らしい実績です。その現象は隣接する他区にも起きていると思います。

**武井** 自宅と最寄り駅の間だけといった限られた空間での利用ならこうはならないですよ。やはり区境を超えてビジネスや観光など広域に利用できるからこそここまで数字が伸びたと思います。事

実、サイクルポートを見ると、港区だけでなく千代田区や中央区、江東区などさまざまな区の自転車が停められていますね。ただ、駐輪台数が多いポート、少ないポートのバラつきがあり、再配置業務が必要になります。

**森井** 日本よりスケールの大きな欧米のシェアサイクルの事例を見ますと、ポート数が多ければ多いほど偏りは是正され、常にまんべんなく自転車が駐輪される傾向が強くなるようです。欧米では車道や歩道をポートとして使うことが認められているケースが多いため、ポートを設置しやすい環境なのですが、日本はまだそこまで法整備ができておらず、思うように増やせないのが現状です。そうしたなかでも港区さんは順調に数を増やしており、170という具体的な数値目標もある。ぜひ、他の自治体にとっての良いモデルとして、ポート、自転車も増やしていただきたいですね。

**武井** ありがとうございます。引き続き、取り組んでいきたいと思います。

## 日本に向かう飛行機内で外国人観光客に自転車シェアリング利用引換券を配布

**森井** ところで港区といえば多くの観光スポットがあり、国内外からたくさん



港区ではさまざまなスタイルの自転車走行空間を整備している



日本に向かう航空機内で外国人観光客に1日券、3日券の割引販売を行い、区内のホテル等でカードを受け取れるように配布している自転車シェアリング利用引換券

の観光客も訪れます。特に近年では日本にやって来る外国人観光客が急増しているわけで、当然港区に足を運ぶ外国人の数も増加しているはずですが、港区さんでは彼らインバウンドに向けてどんな対策をされているのでしょうか。

**武井** これも自転車シェアリングの利用促進なのですが、昨年8月から旅行会社、航空会社の協力をいただきまして日本に向かう飛行機内で自転車シェアリングの1日、または3日利用券の割引販売を行い、区内のホテル等でカードを受け取れるように利用引換券を配布しています。外国人の皆さんが一カ所にお集まりになっている環境なので、効果的に自転車シェアリングの存在を訴求できていると聞いております。

**森井** それは合理的なアピール方法ですね。最近では京都でシェアサイクルを利用して寺社仏閣を巡る外国人観光客を多く目にしますし、私が育った金沢のシェアサイクルも外国人観光客利用率が非常に高くなっているそうです。飛行機内での取り組みが功を奏して、港区、ひいては相互乗り入れを行っている他の区への外国人観光客流入にも期待できますね。

**武井** そうですね。他の航空会社も対象とするなどこれからも継続して取り組んでいくつもりです。

**森井** インバウンド対策で言いますと、多言語化にも取り組まれていらっしゃるのですよね。

**武井** 観光マップは英語、中国語、韓国語など4カ国語対応になっており、港区観光インフォメーションセンターなどでお配りしています。また、区内の観光情報をコンパクトにまとめた4カ国語対応の冊子を区内のホテルの各客室に置いておきまして、手に取っていただきやすいようにしています。

**森井** ホテルのフロントにある程度の部数がまとめて置いてあるケースはよく目にしますが、すべての客室に準備して

あるというのは珍しい。それなりに部数が必要でコストもかかるでしょう。おもてなしの心を感じますね。

**武井** ありがとうございます。

## 民間のアイデア、チャレンジを後押しすることを視野に

**森井** では、もう少し自転車の話題に関連した質問を続けます。もうすぐ「自転車活用推進法」が施行される運びとなり、国ぐるみで自転車の利活用が促進される環境が整ってきました。これに伴う取り組みや自転車施策などがありましたら教えてください。

**武井** 自転車活用推進法は、二酸化炭素排出量の低減、健康増進の側面も評価されて成立した法律です。港区にも同様に「港区低炭素街づくり計画」という施策や、この3月に改定したおよそ20年後を見据えたまちの将来像やまちづくりの方針などを示した「まちづくりマスタープラン」があり、いずれにも自転車利用の促進が関わっています。また、より利用を促すため、自転車走行空間のネットワーク整備も進めているところです。

**森井** どのような種類の走行空間をつくられているのでしょうか。



**武井** 各々の交通環境によって最適な空間をつくる方針を掲げています。自転車専用レーンをはじめとして、その場所に応じて安全で快適に走れる空間づくりを目指しています。また、走行空間だけでなく停める場所、駐輪場への配慮も必要ですね。近年、民間の施設でマラソンランナー向けのシャワー付きロッカールームが増えていますが、そのサイクリスト版もあると聞いています。自転車で都心部のオフィスに出勤する人が自転車をそのロッカーに停めて、シャワーを浴び、スーツに着替えてオフィスに向かう。仕事が終わったらまたロッカーに戻って着替えて自転車で帰宅する——こうした付加価値を備える駐輪場は今後増えてい



国内外から訪れる観光客や港区に転入する人向けに有益な情報をまとめたパンフレット、小冊子などを多数制作し、積極的な広報活動を展開

くのでしょうかね。

**森井** そうですね。最近では、郊外の駐輪場の新しい試みとして宅配ボックスを備えたものも登場しています。不在時の再配達で宅配業者の負荷を高めてしまうということで問題になっていますが、それを解消することとユーザーの利便性向上を狙った取り組みだということです。

**武井** なるほど。それは便利ですね。

**森井** 最近ではカフェを併設するタイプの駐輪場も見られるようになりました。そこでサイクリスト同士が交流して新たなネットワークや人の回遊が生まれ、街起こし的な効果もあるようです。最近では路上のオープンカフェ設置を許諾する自治体も増えていますので、カフェ併設型の駐輪場は増えるかもしれません。港区の洗練された街の雰囲気に非常にマッチすると思います。ぜひ取り組んでいただきたいですね。

**武井** はい、民間のアイデアやチャレンジは非常に進んでいますので、我々もそうした情報をキャッチして行政として後押しできるようにしていくことが必要だと思います。

**森井** 民間企業ですと常に採算が取れる・取れないという問題が付きまといまいます。駐輪場は一種の社会資本ですし、必要に応じて行政から補助金をいただけると非常にありがたいですね。

**武井** 付加価値の話に関連した話題では、自動車駐輪場でも駐車以外の機能を加えた区立駐輪場を運営しております。

**森井** どのような機能ですか。

**武井** 港区では品川駅港南口と麻布十番に2ヵ所の区立駐輪場があります。いずれも交通量が多い場所にありますので違法駐車対策に効果を発揮していますが、付加価値としてAED(自動体外式除細動器)を設置しております。なお、駐車場の管理員は救急救命士の資格をもっていますので対応力も高く、その点もご安心いただけたと思います。

**森井** 駐輪場がそのエリアの救命・防

災拠点として機能するわけですね。非常に良い取り組みだと思います。最近ではLEDの街灯の地上部分に、非常用グッズの備蓄倉庫、スマホの充電用電源などが設置された製品も増えており、新設する駐輪場ではそうした街灯を備え付けるケースも見られますね。ちなみにこれは日本にはないと思いますが、台湾の地下駐輪場は有事の際、すべて防空壕として使える仕様だと聞いたことがあります。かつて中国との緊張が高まっていた際にそうした駐輪場が増えたようですね。

**武井** そのような駐輪場は確かに日本にはないですね。これからもそのような駐輪場をつくる必要がないような世の中にしていかないとイケませんね。

## 街のにぎわい確保、 効率的な利用を目指して 駐車場の集約化を進める

**森井** 港区は人気の観光スポットが多いえに大企業をはじめ、大小のオフィスも集積しています。それだけ人の動きも激しいだけに、駐輪場が不足するような事態にはなっていないのでしょうか。

**武井** 現在の時点ではおおまかには賄えていると考えています。また、最近では駐車場の集約化に取り組み始めています。区内のビルは延床面積などの条件に応じた附置義務で設ける駐車場の台数が決まっていますが、ビルの立地によっては利用率の低い駐輪場も見受けられます。そのままではスペースが有効活用できません。そこでいくつかの駐輪場をまとめることで、もっと効率的に駐車できるようになるというわけです。また、駐輪場を集約すると空き駐輪場を探して

車があちこちに動く必要もなくなり、歩行者の安全、二酸化炭素排出量の削減などにもつながります。

**森井** そうですね。駐車場の集約化、配置適正化は都市部で最近増えてきました。

**武井** また、集約化することで街のにぎわいを途切れさせない効果にも期待できます。というのは、例えば商店街などに駐輪場がある場合、車の出入りする場所で人の流れや賑わいが途切れてしまうケースがあるからです。駐輪場が分散しているとあちこちでそうした事態が起こる可能性があります。集約化できればそうしたことが減少するわけです。

**森井** 昨年の暮れ、我々はオーストラリアのシドニー、ブリスベンに駐車場の視察に行ったのですが、市街地の駐車場で附置義務についてお聞きする機会がありました。日本では延床面積に応じて附置義務台数が増えますが、オーストラリアは真逆で「これ以上設置してはいけない」と上限が決められているんです。つまり、市街地には車に入ってきて欲しくないということなんですね。歩行者が安全、快適に街を歩けるよという配慮のようです。

**武井** なるほど、それは良いですね。

**森井** また、路上のパーキングメーターはすべて予約制でした。スマホで手軽に予約できるので駐車場の空き待ちや、駐輪場探しで右往左往するといったことがないわけです。“自由席”もあ



観光名所に加えて国内外の大企業も集積している

りますが、市街地から遠く、利便性はあまりよろしくありませんでした。要は新幹線予約という似たようなシステムであり、技術的にさほど難しくはないそうです。どうでしょう、港区さんも導入されてみては。

**武井** なるほど、効率的に運用できれば良いですね。有益な社会資本になるかもしれません。それと区民の皆さんから最近よく聞くのですが、カーシェアリングはかなり身近な存在になっているようです。駐車場代のコストが高い、さほど頻繁に車に乗らないのでそもそも保有する必要もなくなってきた——そんな理由でマイカーを持たない人が増えているというのですね。必要な時だけカーシェアリングを利用されるという、合理的な志向の方が増えています。

**森井** 欧米ではシェアサイクル同様に路上にカーシェアリングのポートがあり、市民によく利用されています。車のクラスはトヨタのヴィッツくらいのコンパクトカーで、パリでは「オートリブ」



対談は区長室隣の応接室で行った。具体的なデータを多数交えながらの説明で非常に分かりやすかった

という電気自動車のカーシェアリングが普及していますし、ベンツの「car2go（カーツォー）」もドイツをはじめ各国に展開しています。

**武井** 私たちが若い頃は車を持つことはひとつの夢でした。しかし、時代の変化なのでしょうが、現代では若い人を中心にシェアできれば良いという人が増えている。かくもライフスタイル

は変化していくわけですね。

**森井** おっしゃるとおりです。我々もそうした変化に対応していかなければならないと考えています。本日はシェアサイクルや駐車場施策、外国人対応など港区さんの先進的な取り組みについて多様なおうかがいでき、非常に勉強になりました。誠にありがとうございました。

PP

【パーキングプレス 発行人】 **森井 博** のプロフィール

- 一般社団法人 日本パーキングビジネス協会 理事長
- 一般社団法人 自転車駐車場工業会 会長
- 一般社団法人 日本シェアサイクル協会 専務理事
- 東京八重洲ライオンズクラブ 会員
- 六本木男性合唱団 団員
- サイカパーキング(株)、日本駐車場救急サービス(株)、モーリスコーポレーション(株) 夫々代表取締役CEO

**【略歴】** 1938年(昭和13年)宮崎県延岡市生れ78歳。  
 1957年(昭和32年)石川県立金沢泉ヶ丘高校卒  
 1961年(昭和36年)東京商船大学(現東京海洋大学)卒  
 1961~1979年 石川島播磨重工業(現:IHI)  
 1979~1991年 東芝  
 1991年~ 現職

**【趣味】** 現在: ゴルフ・車・自転車・歌・仕事  
 過去: 水泳・野球・陸上競技・テニス

**【遍歴】** ゴルフ: 毎週1回ホームコースでラウンド、週1~2回練習場通い。  
 車: 毎日通勤で運転。中古車3台を大切に乗り廻す。  
 自転車: マツダレベル、プリチストンモルトン、プロンプトン他数台保有するも年齢を考え余り乗らない。  
 歌: 六本木男性合唱団でロクに楽譜も読めないのに毎週練習に励む。  
 仕事: 健康のため平日は毎日9:00~17:00出勤、社員に迷惑をかけている。但し、土、日、祝日は絶対に出社しない。  
 水泳: 漁港で漁師の子供達と一緒に育ったため、小学校に入る前から泳ぎは得意。ちなみに小学校の名前は延岡市立港小学校。  
 野球: 中学生までは本気でプロになるつもりであった。元西鉄ライオンズ 故・稲尾和久投手、完全試合投手 田中勉、元巨人 淡河弘捕手は友人。元巨人監督 原辰徳氏の父 故・貢氏も友人でボクサー犬を買った仲。  
 陸上競技: 高校時代 短距離、やり投げ、インターハイ2回出場。東京陸協元会長でオリンピック3回出場の大串氏とは友人  
 テニス: 元テニ選手 本井満氏のコーチでかなりの腕前(?)になるも、45歳時アキレス腱断裂でプレー終了。

過去の対談ゲストの方は、WEBでご紹介しています

パーキングプレス 対談 で検索

または <http://www.parkingpress.jp/taidan/> にアクセス

対談記事のバックナンバーもご覧いただけます。

